

令和 7 年 8 月 8 日

## 令和 6 年度 特別の教育課程の実施状況等について

| 学 校 名                                      | 管理機関名         | 設置者の別 |
|--------------------------------------------|---------------|-------|
| 沖縄アミークスインターナショナル小学校<br>沖縄アミークスインターナショナル中学校 | 学校法人アミークス国際学園 | 私立    |

## 1. 学校における特別の教育課程の編成の方針等に関する情報

| 学 校 名                                      | 特別の教育課程の編成の方針等の公表 URL                                                                           |
|--------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 沖縄アミークスインターナショナル小学校<br>沖縄アミークスインターナショナル中学校 | <a href="https://www.amicus.ed.jp/about/specialed">https://www.amicus.ed.jp/about/specialed</a> |

## 2. 学校における自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

| 学 校 名                                      | 自己評価結果の公表 URL                                                                                   | 学校関係者評価結果の公表 URL |
|--------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|
| 沖縄アミークスインターナショナル小学校<br>沖縄アミークスインターナショナル中学校 | <a href="https://www.amicus.ed.jp/about/specialed">https://www.amicus.ed.jp/about/specialed</a> |                  |

## 3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

## (1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

☒ 計画通り実施できている  
☐ 一部、計画通り実施できていない  
☐ ほとんど計画通り実施できていない

## (2) 実施状況に関する特記事項

※(1)で「一部、計画通り実施できていない」又は「ほとんど計画通り実施できていない」を選択した場合は、必ず記載する。

## (3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

☒ 実施している  
☐ 実施していない

<特記事項>

#### 4. 実施の効果及び課題

##### (1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している目標との関係

本校では、「自分で考え、学び、行動し、自分の将来を自分で切り開く自立した子どもを育てる」ことを学校教育目標としており、さまざまな国籍を背景に独自の文化や多様な生活経験を持った教師や子どもたちが共に学び、日常的な行動の中から国際性を身につけさせることができる。英語イマージョン教育と特別に編成された教育課程を実施することで、コミュニケーションツールとしての英語を身につけ、多様な中で生きる子どもたちにいろいろなことを挑戦させ「行動する子」を育成している。

##### (2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

教育基本法第二条第5項に「伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。」とあり、学校教育法第二十一条第三項には「我が国と郷土の現状と歴史について、正しい理解に導き、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養うとともに、進んで外国の文化の理解を通じて、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。」とある。英語イマージョン教育と特別に編成された教育課程を実施する中で、単なる「国際理解教育」の枠を超え、子ども達が国際社会の平和と発展に寄与し、国際社会の中でもリーダーシップが発揮できるよう、国際社会で欠かすことのできない外国語（英語）能力の習得、リーダーとして求められる資質を育成しており、学校教育法に示す学校教育の目標につながっている。

#### 5. 課題の改善のための取組の方向性

アンケート調査等の結果から、令和6年度は学校の特色を生かした教育活動や行事の実施が保護者から特に高い評価を受けていることがわかる。英語活動だけにとどまらない、学校独自の特色が効果的に教育活動や行事に反映できていることの表れであると考えます。

しかしながら、英語力向上の取組については、さらなる改善を保護者からも求められており、今後、一層の英語力の向上を目指し、具体的な施策が必要となる。幼小中一貫校である特色も生かしながら、全校種における英語力の向上に、学園全体で取り組んでいきたい。

また、地域の英語教育先進校として、他校の参考となるよう、本校での取組を積極的に発信および公開し、地域全体での英語力の底上げに貢献できるよう、開かれた学校づくりを目指していきたい。